

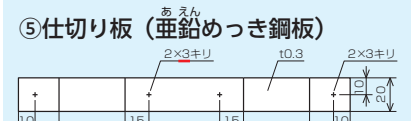
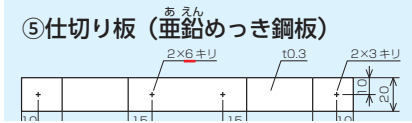
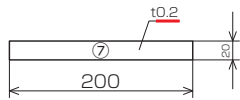
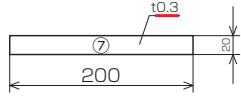
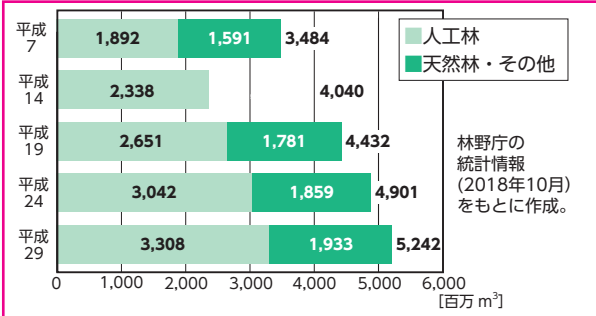
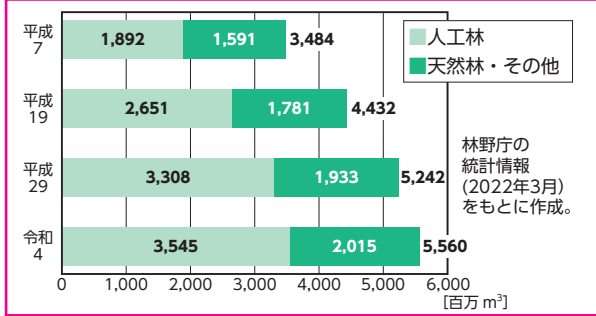








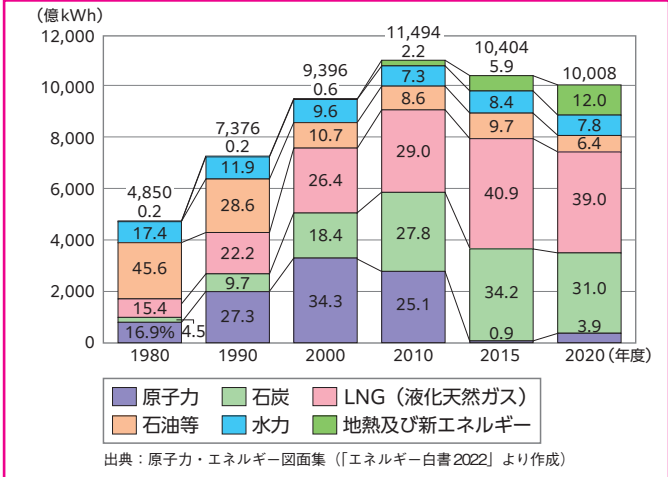


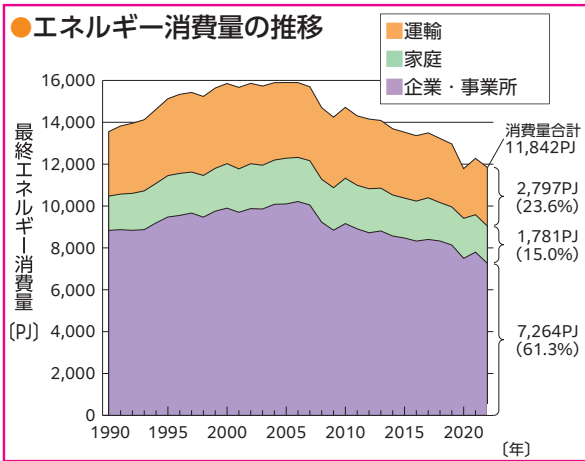
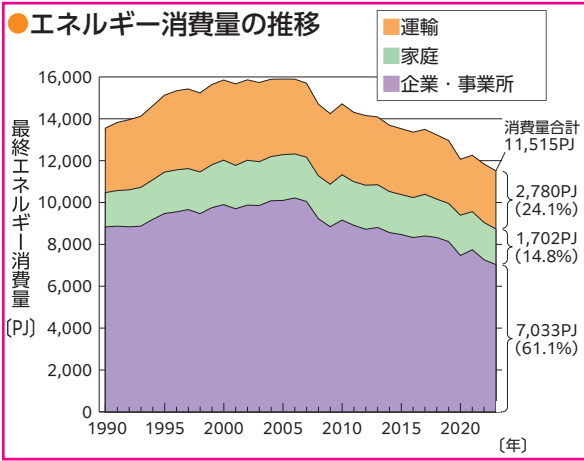


訂正箇所		令和7年度教科書（旧）	令和8年度教科書（新）								
ページ	行										
3	右上	<p>※この教科書の内容については、国連の承認を得たものではありません。また、国連や加盟国の見解を反映したものではありません。</p>	<p>※この教科書の内容については、国連の承認を得たものではありません。また、国連や加盟国の見解を反映したものではありません。</p>								
12	左下	<p>□ノートパソコンやタブレットは、落とさない<u>ように</u>ケースに入れて持ち歩く。</p>	<p>□ノートパソコンやタブレットは、落とさない<u>よう</u>にケースに入れて持ち歩く。</p>								
14	1～7	<p>私たちの身のまわりには、<u>生活を便利にするために、</u>さまざまな材料でつくられたものがあります。また、<u>生活上の問題を解決するため、</u>今後さらに新しい材料が開発され、<u>その材料を加工する技術</u>も発達していくでしょう。</p> <p>この編では、<u>つくってみたいものを設計・計画しながら技術のプラス面、</u>マイナス面を考え、<u>材料や加工の基礎的な技術</u>について学んでいきましょう。</p>	<p>私たちの身のまわりには、<u>生活を便利にするために、</u>さまざまな材料でつくられたものがあります。また、<u>生活上の問題を解決するため、</u>今後さらに新しい材料が開発され、<u>その材料を加工する技術</u>も発達していくでしょう。</p> <p>この編では、<u>つくってみたいものを設計・計画しながら技術のプラス面、</u>マイナス面を考え、<u>材料や加工の基礎的な技術</u>について学んでいきましょう。</p>								
19	資料2	<table border="1"> <tr> <td>価格の低さ</td> <td>★★★★</td> <td>★★☆</td> <td>★☆☆</td> </tr> </table>	価格の低さ	★★★★	★★☆	★☆☆	<table border="1"> <tr> <td>価格の低さ</td> <td>★☆☆</td> <td>★★☆</td> <td>★★★★</td> </tr> </table>	価格の低さ	★☆☆	★★☆	★★★★
価格の低さ	★★★★	★★☆	★☆☆								
価格の低さ	★☆☆	★★☆	★★★★								
32	資料1	<p>製品の使用后</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どじょう 土壌に混ぜこみながら耕す → 微生物による生分解</li> <li>分別回収 → 堆肥化、メタンガス発酵</li> </ul>	<p>製品の使用后</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どじょう 土壌に混ぜこみながら耕す → 微生物による生分解</li> <li>分別回収 → 堆肥中での生分解、メタンガス発酵</li> </ul>								

訂正箇所		令和7年度教科書（旧）	令和8年度教科書（新）
ページ	行		
39	④切断	<p><b>4 切断</b>  スキルアシスト▶ p4                      クランプで材料をしっかり固定する。<sup>りょうば</sup>両刃のこぎりで切断する。</p>	<p><b>4 切断</b>  スキルアシスト▶ p4                      クランプで材料をしっかり固定する。<sup>りょうば</sup>両刃のこぎりで切断する（<u>刃の向きに注意する</u>）。</p>
50	部品図 ⑤仕切り板	 <p>⑤仕切り板（亜鉛めっき鋼板）</p>	 <p>⑤仕切り板（亜鉛めっき鋼板）</p>
63	材料取り図	<p>亜鉛めっき鋼板</p> 	<p>亜鉛めっき鋼板</p> 
66	資料2	<p><b>資料 2 日本の森林蓄積の推移</b></p>  <p>林野庁の統計情報 (2018年10月) をもとに作成。</p>	<p><b>資料 2 日本の森林蓄積の推移</b></p>  <p>林野庁の統計情報 (2022年3月) をもとに作成。</p>

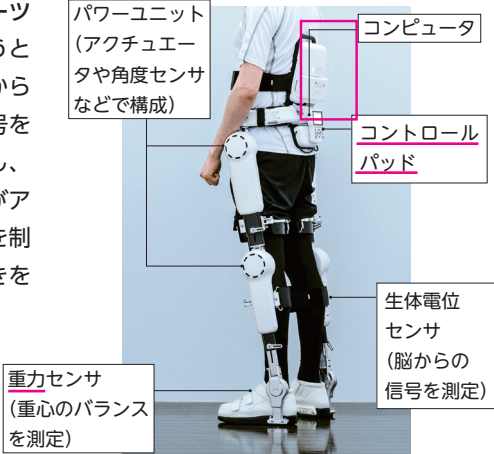
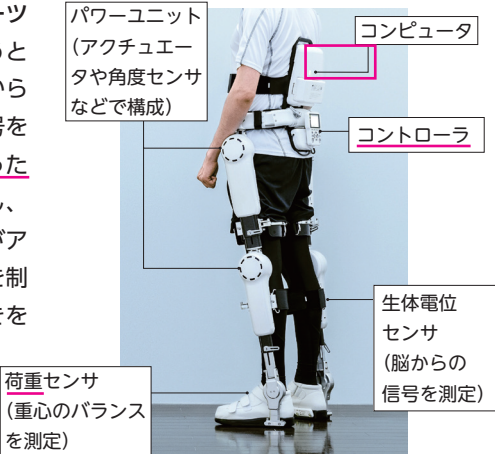


訂正箇所		令和7年度教科書（旧）	令和8年度教科書（新）
ページ	行		
70	1～8	<p>作物や家畜、水産生物、樹木などの生物を育てる技術の発展により、<u>私たちは環境を調節しながら、豊かな生活を送ることができるようになりました。</u>一方、<u>人の管理のもとで生物を育てることによる環境への影響も考えられます。</u>そのために環境を守りながら生物を育てる技術の重要性が求められています。</p> <p>この編では、<u>生活や社会、自然の問題を技術の力で解決するために、便利さとそれともなう悪影響を考えながら、生物を育成する技術の基礎を学んでいきましょう。</u></p>	<p>作物や家畜、水産生物、樹木などの生物を育てる技術の発展により、<u>私たちは環境を調節しながら、豊かな生活を送ることができるようになりました。</u>一方、<u>人の管理のもとで生物を育てることによる環境への影響も考えられます。</u>そのために環境を守りながら生物を育てる技術の重要性が求められています。</p> <p>この編では、<u>生活や社会、自然の問題を技術の力で解決するために、便利さとそれともなう悪影響を考えながら、生物を育成する技術の基礎を学んでいきましょう。</u></p>
74	見つける		
89	左下	<p><u>基礎技能動画</u></p>	<p><u>基礎技能</u></p>
100	問題解決レポート		

訂正箇所		令和7年度教科書（旧）	令和8年度教科書（新）
ページ	行		
108	めあて キーワード	<p>めあて ● 学習をふり返り、生物育成の技術の役割やこれからの未来における誠実ないかし方を</p> <p>キーワード  □ 技術の評価 □ 誠実ないかし方  </p>	<p>めあて ● 学習をふり返り、生物育成の技術の役割やこれからの未来における誠実ないかしかたを</p> <p>キーワード  □ 技術の評価 □ 誠実ないかしかた  </p>
112	1～7	<p>私たちは、<u>石油や電気などのエネルギーを利用して、便利で快適な生活を送っています。</u>一方で、<u>化石燃料からエネルギーを発生させるとき、大量の二酸化炭素が排出されます。</u>その結果起こる地球温暖化への対策も必要になってきます。</p> <p>この編では、<u>私たちが、生活の便利さを追求するだけでなく、経済的・環境的・社会的な影響を考えながら、生活上の問題の解決ができるように、エネルギー変換の技術の基礎を学んでいきましょう。</u></p>	<p>私たちは、<u>石油や電気などのエネルギーを利用して、便利で快適な生活を送っています。</u>一方で、<u>化石燃料からエネルギーを発生させるとき、大量の二酸化炭素が排出されます。</u>その結果起こる地球温暖化への対策も必要になってきます。</p> <p>この編では、<u>私たちが、生活の便利さを追求するだけでなく、経済的・環境的・社会的な影響を考えながら、生活上の問題の解決ができるように、エネルギー変換の技術の基礎を学んでいきましょう。</u></p>
121	資料4	 <p>出典：原子力・エネルギー図面集（「エネルギー白書2022」より作成）</p>	 <p>出典：原子力・エネルギー図面集（「エネルギー白書2025」より作成）</p>

訂正箇所		令和7年度教科書（旧）	令和8年度教科書（新）
ページ	行		
132	めあて	p132 ●エネルギーを変換する技術に込められた工夫を調べ、	p132 ●エネルギーを変換する技術に込められた工夫を調べ、
133	振り返る	p133 ●エネルギーを変換する技術に込められた工夫を調べ、 p134 ●1章の学習を振り返り、学んだことをまとめる	p133 ●エネルギーを変換する技術に込められた工夫を調べ、 p134 ●1章の学習を振り返り、学んだことをまとめる
134	めあて	p135 ●生活や社会で利用されているエネルギー変換の技術の例について、	p135 ●生活や社会で利用されているエネルギー変換の技術の例について、
135	振り返る	p136 エネルギー変換の作業では、	p136 エネルギー変換の作業では、
136	1	p137 作業中は安全に十分注意して、けがや事故が起こらないように作業台を整頓したり、お互いに声をかけ合っ	p137 作業中は安全に十分注意して、けがや事故が起こらないように作業台を整頓したり、お互いに声をかけ合っ
137	1~5	して事故を防止することが大切です。	して事故を防止することが大切です。
166	振り返る	作業を安全に終わっても、次に教室を使う人が安全で快に作業をできるように、後片づけをしましょう。	作業を安全に終わっても、次に教室を使う人が安全で快に作業をできるように、後片づけをしましょう。
		p166 ●設計の場面で、知的財産権を尊重することができましたか。…… ●友だちと協力して、粘り強く、誠実に実習することができました ●思い通りにならなかったとき、自分のやりかたを見直し、修正す	p166 ●設計の場面で、知的財産権を尊重することができましたか。…… ●友だちと協力して、粘り強く、誠実に実習することができました ●思い通りにならなかったとき、自分のやりかたを見直し、修正す
168	キーワード	キーワード 	キーワード 
168	資料1	<p>●エネルギー消費量の推移</p>  <p>消費量合計 11,842PJ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2,797PJ (23.6%)</li> <li>1,781PJ (15.0%)</li> <li>7,264PJ (61.3%)</li> </ul>	<p>●エネルギー消費量の推移</p>  <p>消費量合計 11,515PJ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2,780PJ (24.1%)</li> <li>1,702PJ (14.8%)</li> <li>7,033PJ (61.1%)</li> </ul>

訂正箇所		令和7年度教科書（旧）	令和8年度教科書（新）
ページ	行		
172	1 ～9	<p>GPSやスマートフォンなどの情報の技術の進歩で、<u>瞬時に</u>自分の位置を知ったり、<u>自動操縦を行ったり</u>、<u>動画を見たり</u>できるなど便利な情報社会になりました。一方で、<u>多くの情報を蓄積・管理する</u>会社から大量の個人情報<sup>も</sup>が漏れるなど、<u>責任のある情報の管理</u>が個人や社会に求められるようになりました。</p> <p>この編では、<u>今の情報社会から人工知能（AI）などが活躍する</u>高度な情報社会へと進展する中で起こりうるさまざまな問題を解決するために、<u>便利さだけでなくそれにとまなう悪影響を</u>考えながら、<u>情報の技術の基礎</u>を学んでいきましょう。</p>	<p>GPSやスマートフォンなどの情報の技術の進歩で、<u>瞬時に</u>自分の位置を知ったり、<u>自動操縦を行ったり</u>、<u>動画を見たり</u>できるなど便利な情報社会になりました。一方で、<u>多くの情報を蓄積・管理する</u>会社から大量の個人情報<sup>も</sup>が漏れるなど、<u>責任のある情報の管理</u>が個人や社会に求められるようになりました。</p> <p>この編では、<u>今の情報社会から人工知能（AI）などが活躍する</u>高度な情報社会へと進展する中で起こりうるさまざまな問題を解決するために、<u>便利さだけでなくそれにとまなう悪影響を</u>考えながら、<u>情報の技術の基礎</u>を学んでいきましょう。</p>
172	目次	<p><b>8</b> 1章で学んだことをまとめよう………190</p>	<p><b>7</b> 1章で学んだことをまとめよう………190</p>
172	左下	<p>» <b>富岳</b> (兵庫県神戸市)</p>	<p>» <b>「富岳」</b> (兵庫県神戸市)</p>
180	学ぶ	<p><b>コンピュータが処理する情報</b></p>	<p><b>情報通信ネットワーク</b></p>
191	技ピト	<p>これまで<b>筋電義手</b>に手が届かなかった多くの人に使って</p>	<p>これまで<b>筋電義手</b>に手が届かなかった多くの人に使って</p>
219	右下	<p>の画面の例（写真<b>下</b>）</p>	<p>の画面の例（写真<b>右</b>）</p>



訂正箇所		令和7年度教科書 (旧)	令和8年度教科書 (新)
ページ	行		
220	資料2	<p>●ロボットスーツ 筋肉を動かそうと するとき脳から 伝わる電気信号を センサが感知し、 コンピュータがア クチュエータを制 御し、人の動きを 助ける。</p>  <p>パワーユニット (アクチュエ ータや角度センサ などで構成)</p> <p>コンピュータ</p> <p>コントロール パッド</p> <p>生体電位 センサ (脳からの 信号を測定)</p> <p>重力センサ (重心のバランス を測定)</p>	<p>●ロボットスーツ 筋肉を動かそうと するとき脳から 伝わる電気信号を <u>皮膚表面に貼った</u> センサが感知し、 コンピュータがア クチュエータを制 御し、人の動きを 助ける。</p>  <p>パワーユニット (アクチュエ ータや角度センサ などで構成)</p> <p>コンピュータ</p> <p>コントローラ</p> <p>生体電位 センサ (脳からの 信号を測定)</p> <p>荷重センサ (重心のバランス を測定)</p>
242	キー ワード	<p>キーワード </p>	<p>キーワード </p>
242	資料1	<p>計測・制御システム や電源などの技術の 進歩で、体に障がい のある人の動きを助 けたり、肩や腰を使 <u>う労働を軽減</u>したり できるようになって</p>	<p>計測・制御システム や電源などの技術の 進歩で、体に障がい のある人の動きを助 けたり、肩や腕に負 <u>担がかかる作業を軽</u> <u>減</u>したりできるよう</p>

訂正箇所		令和7年度教科書（旧）	令和8年度教科書（新）
ページ	行		
168	資料1	<p>企業・事業所（7.5本）</p> 	<p>企業・事業所（7.3本）</p> 